

## 第5学年 英語科学習指導案

日 時 令和2年11月6日(金) 公開授業 I  
 児 童 5年3組 男12名 女13名 計25名  
 指導者 HRT 星 茜  
 場 所 1Fホール

1 単元名 My Hero あこがれの人をしょうかいしよう。(Junior Sunshine Lesson6)

2 単元について

本単元では、自分があこがれている人(ヒーロー)について話を聞いたり、自分のヒーローを紹介したりする。He や She という代名詞で、この表現に慣れることにより、これまでの「自分とあなた」の間での会話が多かった児童が、第三者について語るができる題材といえる。そこで本単元では、あこがれの人を紹介する言い方に慣れ親しみながら、歴史上の人物や郷土の偉人、クラスの友だちや家族などいろいろな人を選び、自分のヒーローを発表しようとする姿を目指したい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、その名前や年齢、できることなどの概要を聞き取ったり、既習の表現を加えながら伝えたい内容を話したりすることができる。また、自分があこがれている人について例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

\*本単元における「聞くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

(2) 学習到達目標との関連

5 学年の到達目標	身近で簡単なことについて話される、初歩的な単語や表現を聞いて、話し手の意向などの要点を理解することができる。
話すこと (発表) Spoken Production	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。
書くこと Writing	身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

(3) 単元の評価規準

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	〈知識〉 “He/She is good at~” . “Who is your hero?” など、自分や第三者が得意なことの言い方やあこがれている人を紹介する表現やその尋ね方、答え方について理解している。 〈技能〉 “He/She is good at~” . “Who is your hero?” など、自分や第三者が得意なことの言い方やあこがれている人を紹介する表現など	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、その理由となること、自分の考えや気持ちなどを含め話している。	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、その理由となること、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。

	を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。		
書くこと	<p>〈知識〉 “He/She is good at~” . “Who is your hero?” など、自分や第三者が得意なことの言い方やあこがれている人を紹介する表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 “He/She is good at~” . “Who is your hero?” など、自分や第三者が得意なことの言い方やあこがれている人を紹介する表現を用いて、考えや気持ちなどを書き写したり書いたりする技能を身に付けている。</p>	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを書き写したり書いたりしている。	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、あこがれている人について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを書き写したり書こうとしたりしている。

#### 4 児童について

本学級は、英語に対する関心が高く、既習の英語表現を日常的に使おうとしたり、新しく耳にする英語について興味をもって質問したりする児童が多い。

話すこと（発表）について、Lesson3「What do you have on Mondays?」の学習では自分がなりたい職業になるための時間割を考え、友だちに発表する活動をした。教科等の英語表現は、日常的に時間割等で使用し何度も練習を繰り返したため、発音よく話せるようになった児童が多かった。ゲーム等では、時間割を尋ねたり答えたりする活動に意欲的に取り組むことができた。しかし、発表本番になるとメモを見たり、発表内容を覚えていてもただ原稿を読むだけの発表になってしまったりした。子どもたち自身が、英語を使って相手に伝えることの良さや面白さを感じられる場の設定や、学習内容の吟味や工夫が必要だと感じる。

#### 5 指導にあたって

本単元で扱うたくさんの英単語や表現に触れ、チャンツやゲームを通して楽しみながら学習を進めていきたい。その際、“He”や“She”の言い方や、「得意なこと」や「年齢」などの言い方に慣れ親しませたい。

また、本単元のゴールを「自分にとってのヒーローを発表しよう！」と設定し、単位時間毎の学習に興味をもたせていく。毎時間の導入で、簡単なやりとり（簡単な発表）を行い、話される英語表現から、話の内容を推測していく。その中で、子ども達が話の内容を推測する際の手掛かりになる既習の表現を使用したり、子ども達の関心を引くような話題等を交えたりしながら、単元のゴール時に子ども達が発表する話形を、繰り返し聞く機会にしていきたい。単元のゴールの活動では、子ども達が相手意識や場面意識をもって発表できるよう、インフォメーションギャップによる、必然性のあるコミュニケーション活動ができるような場の設定を考えていきたい。

本単元の第5時では、自分にとってのヒーローの得意なことや年齢、自分の思いを、発表メモに書く活動が予定されている。思いを書き留めるには、その表現に音声で十分に慣れ親しんでいることが必要である。本校では毎時間 Writing の時間を設定しており、筆順や四線を意識した書き方に力を入れている。しかし、書く活動に対して苦手意識がある児童も多くいる。習熟度別のワークシートを用意するなど、子ども達自身が自分の力を考え、選択できるような工夫を取り入れていきたい。

本校の英語学習の目標である『SHARE』を意識させ、特に“Attitude”や“Respect”を達成できるように活動を行っていきたい。学期末にはパフォーマンス評価を行うので、相手意識をもち、学習

に取り組む姿勢を育てていきたい。今後は、1対1でのコミュニケーションだけではなく、グループや1対複数でのコミュニケーションを図ろうとする児童にするために、小グループや全体での活動を行ってきたい。

6 単元の指導計画と評価計画（6時間扱い）

時間	目標◆・活動○【】				評価規準<評価方法>
		知 技	思 判 表	態 度	
1	◆ ヒーローについての話を聞き、理解することができる。				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">                     本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。                 </div>
	【Let's Listen1】 P.48 【Let's Chant】 ○オリジナルチャンツ ○チェーンゲーム 【Let's Listen2】 P.48 【Let's Write】				
2	◆ 「できること」を表す英語表現に慣れ親しむ。				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">                     本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。                 </div>
	○チャンツ・オリジナルチャンツ ○チェーンゲーム 【Let's Watch and Think】 P.49 【Let's Listen3】 P.50 【Let's Write】				
3	◆ 「できる」「できない」等を尋ねたり答えたりすることができる。				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">                     本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。                 </div>
	○チャンツ・オリジナルチャンツ 【Let's Listen4】 P.52 ○チェーンゲーム 【Let's simple interact】 【Let's Write】				
4 (本時)	◆ 年齢を表す英語表現を知り、友だちにキャラクターを紹介することができる。				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">                     本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。                 </div>
	○チャンツ・オリジナルチャンツ 【Let's Listen4】 P.52 ○紹介ゲーム 【Let's Write】				

5	◆ 例文を参考に，自分のあこがれの人を発表するためのメモを作成することができる。			
	○チャンツ・オリジナルチャンツ 【Let's Listen4】 P.52 ○チェーンゲーム 【Let's simple interact】 【Let's Write】			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p align="center">【「書くこと」の記録に残す評価】</p> <p>◎自分にとってのヒーローのことをよく知ってもらうために、「できること」「得意なこと」などのことを含めて，音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。          &lt;行動観察・ワークシート記述分析&gt;</p> <p>◎自分にとってのヒーローのことをよく知ってもらうために、「できること」「得意なこと」などのことを含めて，音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書こうとしている。          &lt;行動観察・ワークシート記述分析&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が書いたワークシートの記述を分析し，評価の記録を残す。</li> </ul> </div>
		書	書	
6	◆ 相手意識をもち，自分にとってのヒーローを発表する。			
	○チャンツ・オリジナルチャンツ 【Let's Try】 P.55 【Let's Write】			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p align="center">【「話すこと」[発表]の記録に残す評価】</p> <p>◎自分にとってのヒーローのことをよく知ってもらうために、「できること」「得意なこと」などのことを含めて話している。          &lt;行動観察&gt;</p> <p>◎自分にとってのヒーローのことをよく知ってもらうために、「できること」「得意なこと」などのことを含めて話そうとしている。          &lt;行動観察&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分にとってのヒーローを発表している様子を見取り，評価の記録を残す。</li> </ul> </div>
		発	発	

7 本時の展開


単元名	Lesson6 My Hero あこがれの人をしょうかいしよう。	4/6	目標	○年齢を表す英語表現を知り、友だちにキャラクターを紹介することができる。
単元のゴール『自分のヒーローをしょうかいしよう!』				
扱う表現	He/She is my hero. She/He is good at table tennis. Who is your hero? He/She can run fast. Can you play the piano? I can/can't play baseball. How old are you/is she? I'm/He is/She is/10 years old. 等			
語彙例	baseball soccer table tennis kendama yo-yo piano basketball swim recorder cook badminton high fast well hero ~years old great wonderful excellent cool 等			
段階	主な学習活動及び教室英語 等	○HRTの支援		※指導上の留意点 ◎評価 ●教材・教具 等
導入5分	<p><b>【Warming up】</b></p> <p>1 はじめのあいさつをする。 Let's start today's English Class. Good morning. How are you? ・一人一人とテンポ良くやりとりする。 ・できることを尋ねてみる。 ・その後ペアでやりとりさせる。 “Can you play kendama?” など</p> <p>2 簡単なキャラクター紹介を行う。 H: Hello. This is Nohara Sinnosuke. He is 5 years old. He is good at dance. He is my friend. Next. Please look at this. This is Fuguta Sazae. She is 24 years old. She is good at cooking. She is my friend. Thank you.</p> <p>3 めあてを確認する。 Today's Goal is _____.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>He や She を使ってキャラクターをしょうかいしよう!</p> </div>	<p>○HRT主導で行う。 ○笑顔で元気にあいさつする。</p> <p>○既習表現でやりとりを行う。 ※今回は「できる」「できない」をテーマとする。</p> <p>○同じパターンの発表を聞かせ、内容に気付かせたり、自分たちの発表に生かしたりできるようにさせる。 ○HRTの発表後、聞こえてきた内容を全体で確認する。 ○相手意識をふまえた発表の仕方に気付かせる。</p> <p>○めあてを確認させ、年齢を表す英語表現の学習に興味を持たせる。</p>	<p>※楽しい雰囲気作りをする。</p> <p>※ミスをおそれず、元気に取り組ませる。 ※「できた!」という成功体験を積ませる。</p> <p>●掲示用カード</p> <p>○学習の流れが分かるようにメニューを掲示する。</p>	
展開30分	<p><b>【Main Activities】</b></p> <p>4 オリジナルチャンツを行う。 <b>【動作】</b> kick, see, swim, dance など <b>【スポーツ】</b> table tennis, baseball, など Who is your hero? Who is your friend? My hero is ○○. My friend is ○○.</p>	<p>○リズムカルにチャンツに取り組ませる。 ○“he”, “she” の区別がつくように声掛けをする。</p>	<p>●掲示用カード ●リズムボックス</p>	

	<p>This is Nohara Sinnosuke/Huguta sazae. I/He/She is good at yo-yo/otedama/ayatori. He/She is my friend. He/She is my hero. How old are you? I'm ~years old. How old is he/she? He/She is ~years old. 等</p> <p>5 Let's Listen4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハンナのヒーロー紹介で、年齢を表す表現について確認する。</li> </ul> <p>6 キャラクター図鑑を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのキャラクターの紹介の仕方を確認する。</li> <li>ペアで1人のキャラクターを紹介する。</li> <li>ペア同士で自分たちの持っているカードのキャラクターを紹介し合い、キャラクター図鑑を完成させる。</li> </ul> <p>・少し活動したら中間まとめを行う。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>▲年齢の言い方を忘れました。(“~years old.” の言い方の確認) ▲8, 9などの数字の言い方がわかりませんでした。(数字の英語表現) ▲“He”と“She”がどちらを言えばいいかわかりませんでした。  (“He”と“She”の使い方の確認) ○キャラクター図鑑がもう少しで完成しそうです!</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>中間まとめを生かして、活動を再開する。</li> <li>キャラクター図鑑の確認をする。</li> </ul> <p>8 Let's Write</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットドリル</li> <li>ライティングの手順通りに練習する。</li> </ul>	<p>○聞こえた内容や言葉等を発表させる。(文章の意味や話の概要ではなく、聞こえてきた音声でいいことを伝える。)</p> <p>○ハンドアウトを活用し、アルファベット文字に慣れ親しませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタル教材</li> <li>●キャラクターカード (6種類程度)</li> <li>●ハンドアウト</li> </ul> <p>◎ “He” や “She” , 年齢を表す表現を使って、キャラクターを紹介することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ハンドアウト</li> <li>●フェルトペン</li> </ul>
<p>終末10分</p>	<p><b>【Looking back】</b></p> <p>8 本時の学習を振り返る。 How was the class? Please raise your hand. Great? / Average. / Please write your comment. What did you write?</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>○キャラクターを He や She を使ってうまく紹介できました。 ○ペアの人と協力してキャラクターを紹介することができました。 ○ “good at ~.” の言い方がすらすら言えるようになりました。</p> </div>	<p>○2段階で評価させる。 ○振り返りの視点を与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Today's Goal が達成できたか</li> <li>・できるようになったこと</li> <li>・友だちのがんばり</li> <li>・次の時間にがんばりたいこと</li> </ul>	<p>※会話の楽しさや新しい気づき等を記入させ、その後発表させる。</p>

<p>9 おわりのあいさつをする。 That's all for today's English Class. Thank you for your lesson. See you next time. Let's sing the "Goodbye song"</p>	<p>○元気よく歌う。</p>	<p>※感謝の気持ちを忘れずに表現させる。</p>
---	-----------------	---------------------------

板書計画

Greeting	<h2>自分のヒーローをしょうかいしよう！</h2>				
November	<p>Today's Goal</p>	<p>He や She を使ってキャラクターをしょうかいしよう。</p>			
6th	<p>Lesson6-④</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつ</li> <li>2 簡単なしょうかい</li> <li>3 めあての確認</li> <li>4 オリジナルチャンツ</li> <li>5 Let's Listen 4</li> <li>6 キャラクター図鑑</li> <li>7 Let's Write</li> <li>8 ふりかえり</li> <li>9 終わりのあいさつ</li> </ol>				
Thursday					
					

<p>Hanna</p>		<h3>キャラクター図鑑を完成させよう！</h3> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%; height: 60px;"></td> <td style="width: 33%; height: 60px;"></td> <td style="width: 33%; height: 60px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 33%; height: 60px;"></td> <td style="width: 33%; height: 60px;"></td> <td style="width: 33%; height: 60px;"></td> </tr> </table>							<p>Looking Back</p>
<p>She is 13 years old.</p>			<p>Great!!</p>						
			<p>Average</p>						